

ふれあいの
支えあいの
まちづくり



奈良市議員 無所属



やま
で
山出
てつじ

活動レポート
2017年10月 発行

vol.
01

発行者：山出てつじ事務所
〒630-8043 奈良市六条 3-11-21
TEL：090-7884-5225
Email：info@yamade.net

現場の方々の熱き想いに応えたい。 無所属・福祉の現場発。 新人議員58歳の一生懸命。

7月31日「ふれあい、支えあいのまちづくり」の新たな志を胸に初登庁。会派・改革新政会にご縁をいただき、早3ヶ月あまりが経ちました。8月には観光や農業、教育に関わる観光文教委員、議会の円滑な運営に関わる議会運営委員に選任されました。9月定例会においては一般質問、決算審査等特別委員会においても質問に立ちましたので、その模様をご報告します。



第3次地域福祉計画と
第2次地域福祉活動計画の冊子

一般質問

奈良市第3次 地域福祉計画 の実現にむけて

この計画は、社会福祉法

を根拠とし、今年度を初年度とする4年間の計画となっており、左記の3つについて取り組む計画です。

- ① 地域での福祉サービスの適切な利用を進めること
- ② 地域で社会福祉の事業が健全に発達すること
- ③ 地域福祉活動への住民参加の促進に関すること

計画には61の事業、関連部署は7部1局18課1室にわたるため、計画実現には、まさに全庁的な連携と協力がが必要です。

また同時に、地域福祉の主役である住民や民間事業所、関係機関への啓発・参

加促進も重要です。

本計画を確実にすすめるための具体的な取り組みについて質問し、主に次の内容の答弁を得ました。

- ① 策定機関である地域福祉推進会議との間で計画の進捗状況を共有し、十分な審議の下で計画実行に関わるPDCサイクルの機能向上を図っていきたい。

- ② 奈良市社会福祉協議会との連携をさらに深め、「住民参加の取組」や「共助の基礎づくり」に取り組むことが必要だと考える。そのため、民間計画となる奈良市第2次地域福祉活動計画を並行して策定したい。

- ③ 市民へ広く啓発するため、地域福祉計画と地域福祉活動計画を合わせたダイジェスト版を作成する。

- ④ 本計画は平成33年3月に終了する。地域福祉の推進を切れ目なく展開するために、次期計画の策定も早い段階から取り組みたい。

「ふれあい支えあいのまちづくり」につながる本計画の実現にむけ、私も議員として、また、一市民としてしっかりと関与してまいります。

※1 PDCサイクル
Plan（計画）→ Do（実施）→ Check（評価）
→ Act（改善）の4段階を繰り返しながら、よりよい事業を継続的に改善する手法。



愛用のカバンと、山出の目指すビジョンを描いたワッペン

大規模災害への 確かな備えを

これまでの防災訓練や福祉避難所の現状と課題について左記の意見、要望を述べました。

- ① 約4年半実施していない庁内連携をふまえた初動対応訓練を、次年度より第一四半期中に毎年実施すること。
- ② 「災害時初動マニュアル」の携行確認、定期的な内容の読み合わせを実施すること。
- ③ 大規模災害発生時の連絡体制構築を求める。公助に求められる初動対応の要は情報コントロールであり、初動対応訓練にはこの観点が不可欠。
- ④ 「災害時における福祉避難所の指定に関する協

定書」締結後、数年が経過したが、具体的な運営等について協議されていない。今年度中に話し合いの場を設けること。

意見、要望した事項については、実現のため関係課に対し、切れ目なく働きかけてまいります。

小・中学校 図書館の環境、 機能の充実を

子どもの豊かな感性を育む読書。インターネットが日常生活に入り込んでいる今、学校図書館の役割はこれまで以上に重要になっていると考えます。そして、小・中学校の学校図書館環境の現状や司書派遣状況等について左記の通り意見、要望を述べました。

図書的大幅な入替は

学校現場、保護者、図書ボランティア、司書など関係者全ての協力が揃ってこそ実現する。特に司書の存在は、図書貸出機能の向上や利用時間の拡大、図書の日常的な整理整頓、授業内容に合わせた図書の選書、学級文庫の充実など学校図書館の充実に必要不可欠である。現時点で司書の派遣率は全学校の25%で、ほとんどが週1回のため、来年度以降の計画的な司書増員を強く要望する。

- ① 随意契約については、各主務課への庁内啓発と調達のながれを確立することで実現が可能。年内に関係課間で話し合い、調整を開始すること。
- ② 法律に位置付けられた公的発注以外にも、法の施行的目的「障がいがある方々が自立した生活を送るための経済的な基盤確立」に沿う取り組みを創意工夫すること。

*2 障害者優先調達 の啓発・推進を

平成28年度の優先調達(公的発注)額は約40万円

まさに、障がいある方々の就労支援現場で働いてきた者として、優先調達の啓発・推進に注力してまいります。

*2 障害者優先調達—「障害者優先調達推進法」では障害者の自立支援を目的に、国、地方公共団体、独立行政法人が障害者のかかわる製品やサービスを優先的に購入するように義務づけている。各年度の終了後に、実績を公表することが義務づけられている。



奈良市議会議員 無所属
山出てつじ
プロフィール

奈良市に生まれ育って58年。社会福祉士・防災士・まちづくり歴18年です。飛鳥小・春日中・奈良高・関学大で学びました。旅行会社で営業マンをしていた38歳の時、1冊の本「体験ルポ 世界の高齢者福祉」との出会いから福祉の世界へ。以来「ふれあい、支えあいのまちづくり」を一生涯の仕事と定め「地域福祉の推進」等に取り組んでいます。



ホームページ、フェイスブックで活動状況更新中！ **山出てつじ**



<http://yamade.net/>



<https://www.facebook.com/yamadenet/>

